

現代日本論基礎講読「研究法入門」

第7講 アイディアの交換

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 研究のアイディアについての意見交換

1 意見の交換

【課題1】各自が作ってきたマインドマップを見ながら、グループで意見交換する

- 5分程度で説明、そのあと意見交換
- 思いついたことはとりあえず口に出してみる
- 今の段階では、最終的なレポートの形や、厳密な理論展開や根拠については保留しておいてよい

2 その他のアイディア創出方法

- カードの利用: 「KJ法」など → 教科書 pp. 110–116
- 構成表 (大枠がすでに決まっている場合) → 木下 (1981, p. 53)
- コンピュータの利用 (アウトラインプロセッサなど)

3 宿題

自分がレポートで取り上げる内容について、配布資料 (大島ほか, 2005, p. 37) を参考にして、「問いと答え」の表を作成。次回授業時に2部持ってくる (1部を提出、1部は授業で使用。)

4 今後の予定

- グループで面接 (レポートについて): 12/19,24,25; 1/6,7,8
- レポート内容について発表: 1/9,16 授業
- 口頭試問

文献

川喜田二郎 (1967) 『発想法』 中央公論社.

川喜田二郎 (1970) 『続・発想法』 中央公論社.

木下是雄 (1981) 『理科系の作文技術』 中央公論社.

大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2005) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現: プロセス重視のレポート作成』 ひつじ書房.